



DEEBOT *mini 2*
取扱説明書/Instruction Manual

安全に関する重要注意事項

安全に関する重要注意事項

本製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

本製品のご使用前に、取扱説明書を必ずお読みください

本取扱説明書は大切に保管してください

1. 本製品は、安全に責任を負う人の監視又は指示なしに、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で使用しないでください。
2. お子様の本製品を使って遊ばないようにご注意ください。
3. 掃除する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテールクロスなどは床から持ち上げてください。
4. 落下防止センサーが搭載されていますが、怪我や家具と本体の破損を防ぐため、高いところでご使用される際は、落下防止柵等を設置してください(センサーライトが床の表面に反射する場合や、床の色が濃い場合、また床自体が汚れている場合はうまく動作しないことがあります)。
5. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用

してください。メーカーによって推奨あるいは販売されている消耗品・付属品のみを使用してください。

6. ご家庭の屋内でのみ使用してください。本製品は、屋外使用、商業または産業用途での使用を想定していません。
7. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
8. 火気や壊れやすい物のある場所で使用しないでください。
9. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
10. 極端な高温環境または低温環境(-5℃未満または40℃超)では使用しないでください。
11. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
12. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
13. 本製品に石、大きな紙くずや、その他詰まる可能性のある物体を吸引させないでください。
14. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引火性または可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
15. 燃えている、または煙が出ている物体(タバコ、マ

- ッチ、熱い灰など)を本製品に吸わせないでください。発火の原因となります。
16. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にほこり、糸くず、髪、その他空気の流れを弱める可能性のある物体がたまらないようにしてください。
 17. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
 18. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
 19. CH2536 に適したリチウムバッテリータイプは、最大電池数 4 個、最大公称電圧 DC14.4V、定格 2,944mAh です。
 20. 内蔵リチウムイオンバッテリーを含めた弊社製品の廃棄について、処分方法はお住いの自治体によって異なりますので、お住いの自治体の処分方法に従い廃棄してください。処分方法についてご存じない場合は、はお住いの自治体にご確認ください。ご自身での処分が難しい場合は、送料お客様ご負担にて弊社で無償にてご対応させていただきますので、コールセンターにお問い合わせください。その際は、部品などのご返却はしておりませんので、ご注意ください。
 21. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
 22. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。Ecovacs Home Service Robotics は、不適切な使用に起因するいかなる損傷または負傷に対しても一切の責任を負いません。
 23. ロボットのバッテリーは専門業者のみが交換できません。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
 24. ご使用環境の電源の電圧が、全自動クリーニングステーションに記載されている電圧と一致していることをご確認ください。
 25. 本製品に付属する製造元純正の充電バッテリーおよび全自動クリーニングステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。
 26. 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や全自動クリーニングステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだままドアを締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、熱を持った場所か

- ら離れた場所に置いてください。
27. 全自動クリーニングステーションが損傷している場合は使用しないでください。電源に損傷や欠陥がある場合は、その電源を修理したり使用したりしないでください。
 28. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品または全自動クリーニングステーションが適切に動作しない場合、または落下、損傷、屋外放置、水濡れなどがあった場合は、本製品または全自動クリーニングステーションを使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。
 29. 全自動クリーニングステーションの清掃やメンテナンス作業前には、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 30. 本製品を処分する場合は、バッテリーを取り外す前に、本製品を全自動クリーニングステーションから取り外し、本製品の電源スイッチをオフにしてください。
 31. 全自動クリーニングステーションを長時間使用しないときは、電源を切ってください。
 32. 長期間ロボットを使用しない場合には、ロボットの電源をオフにし、全自動クリーニングステーションから外して保管してください。

33. 警告 - 洗浄水タンクには水道水だけを追加してください。

34. 警告: バッテリーの充電には、本製品に付属している取り外し可能電源アダプター CH2536 を必ず使用してください。

35. 故障や異常が発生した場合は、使用を中止しコールセンターにご連絡ください。


高周波 (RF) 曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は本機器と人の間の距離を 20 cm 以上離れたままにする必要があります。

要件を順守するために、20cm 未満の距離での動作はお勧めしません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

デバイスの更新

一部のデバイスは、通常、隔月で更新されますが、必ずしも定期的ではありません。

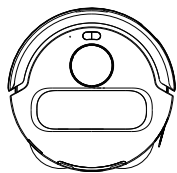
一部のデバイス、特に発売から 3 年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

	クラスII
	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流
	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性
	遅延ミニチュアヒューズリンク

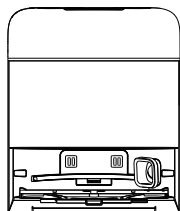
リモート監視機能は、ご自宅など私有地内での個人使用に限定されています。ご利用の際には、現地のデータ保護に関する法令を遵守してください。ご利用の際には、現地のデータ保護に基づく法的義務にご注意ください。公共の場所の監視は行わないでください。特に、正当な理由なく秘密裏に行う監視や、雇用者が従業員を監視する目的での使用はしないでください。このような不当な使用は、ユーザーのみがリスクと責任を負うこととなります。

パッケージ内容

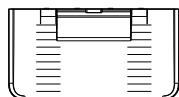
① パッケージ内容物



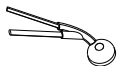
DEEBOT



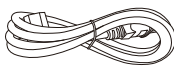
OMNI ステーション



ベース



サイドブラシ



電源コード



取扱説明書

注:本取扱説明書の図はあくまで参考であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

② 梱包材の再利用:DIY ペットハウス

この梱包箱は厚手で丈夫な材料で作られています。居心地の良いペットハウスに簡単に変身させて、エコに楽しむことができます。

ステップ1:屋根を組み立てる

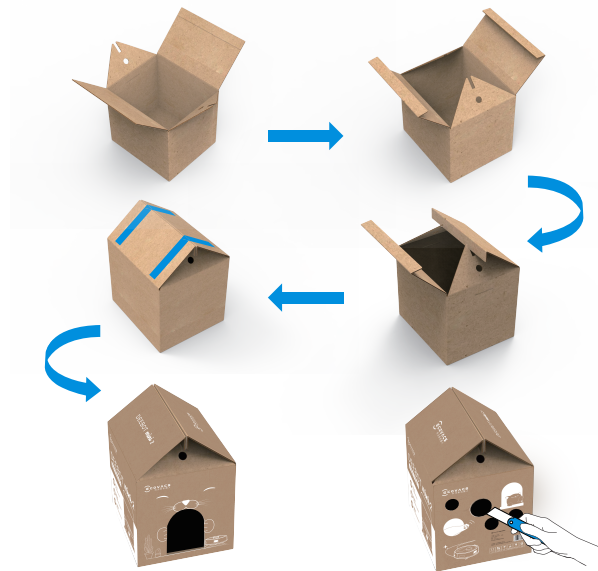
•箱の上側のフラップをあらかじめ刻み目が付けられた折り目に沿って内側に折って屋根を作ります。

•梱包用テープで継ぎ目をしっかりと固定します。

ステップ2:入口を作る

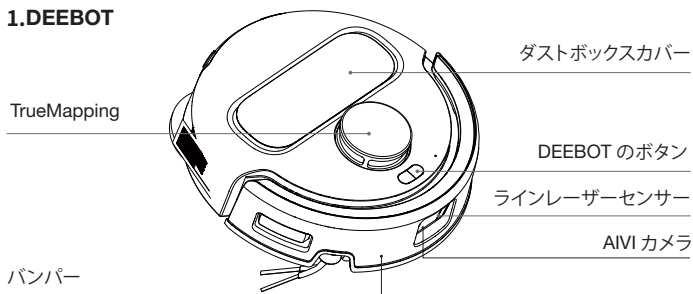
•カッターを使って箱の側面(どの面でも可)を切り抜いて、ペットが出入りできる大きさの入口を作ります。

注:切り傷などのケガを防ぐため、カッターの取り扱いには十分注意してください。本ペットハウスご使用による、人またはペットの怪我にご注意ください。



3 製品構成

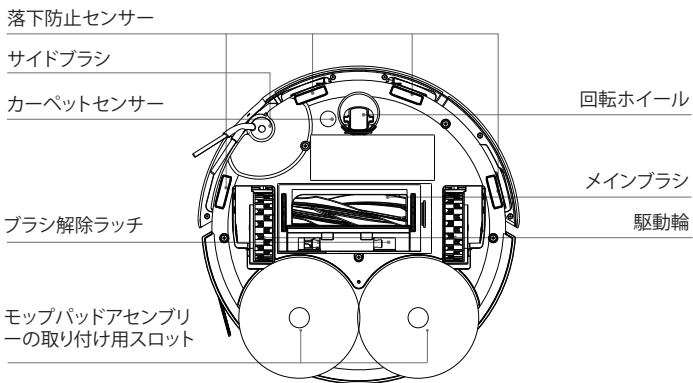
1. DEEBOT



DEEBOT のボタン:

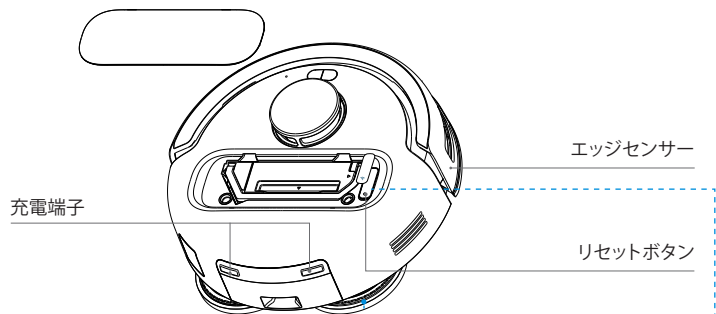
- 🏠 押す: ステーションに戻る
長押しする: ステーションのセルフクリーニング (DEEBOT がステーションに戻っている場合のみ利用可能)
- ⏸ 押す: 開始 / 一時停止 / 再開の切り替え
長押しする: 電源オン / オフ
- 📶 押す: Bluetooth ネットワーク設定
長押しする: リセット (ダストボックスカバーの下)
- 📶 + ⏸ 押す: Wi-Fi ネットワーク設定
🏠 + ⏸ 長押しする: チャイルドロック

2. 底面

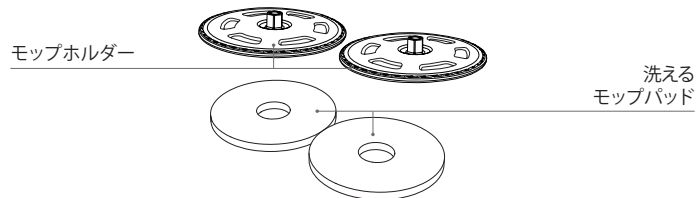


3. DEEBOT内部 (ダストボックスカバーの下)

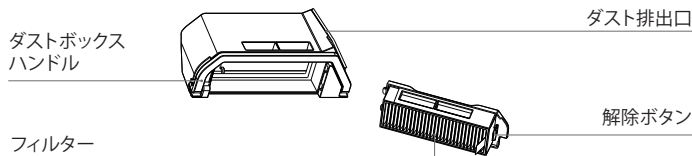
🔄 リセットボタン
ネットワーク設定: リセットボタンを押すと、音声ガイドが DEEBOT をアプリに接続するように案内します。
デフォルト設定に戻す: リセットボタンを長押しします。音声ガイドの後に起動音が流れ、DEEBOT がデフォルト設定に戻ります。



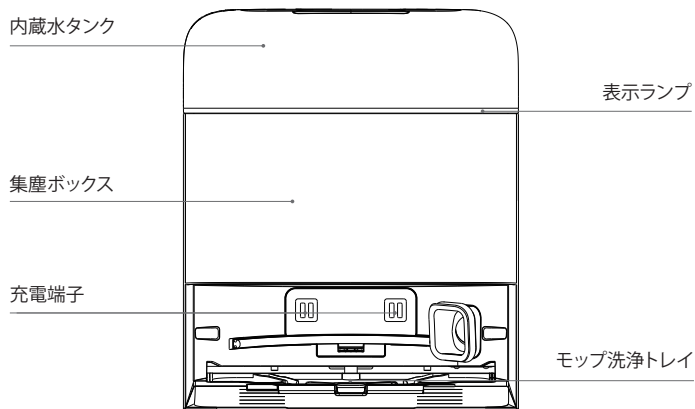
4. モップパッドアセンブリ



5. ダストボックス



6. OMNIステーション(正面)

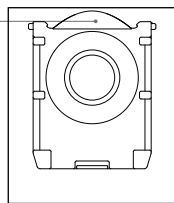


注:

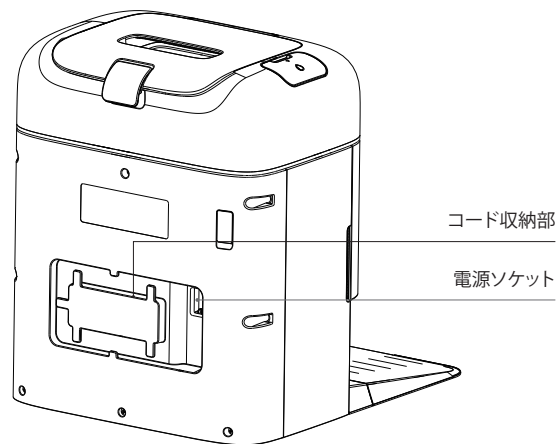
- ・赤点滅: ECOVACS HOME アプリで原因を確認してください。
- ・DEEBOT が充電しない場合は、充電端子をきれいな乾いたクロスで拭いてください。

7. ダストバッグ

ダストバッグの取っ手



8. OMNIステーション(背面)



9. インジケータライト

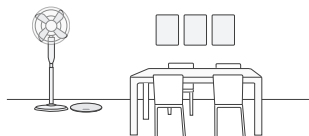
表示ランプ	ライトの状態	ステータス
DEEBOT	白色でゆっくり点滅	充電中
	白色で点灯	フル充電 / 走行中 / 一時停止
	赤色で点灯	電池残量が少なくなっています
	赤色で点滅	DEEBOT アラーム
	黄色で点滅	ステーションアラーム
	黄色で 2 回点滅	チャイルドロック有効 (ボタンは無効)

10. センサーの概要

名前	機能の説明
TrueMapping	TrueMappingは、レーザー光を照射し、周囲の物体に反射した光を受光する三角測量方式でDEEBOTと周りの物体との正確な距離を計算します。DEEBOTが移動すると、周りの物体の位置を特定し、周囲の空間マップを作成します。測定範囲は6mです。
ラインレーザーセンサー	レーザー光を照射して反射した光を検知するレーザー測定技術を使用して、DEEBOTと周囲0.3m以内の物体との距離が測定されます。センサーが周りに最大高さを超える物体を認識すると、DEEBOTは自動的に方向を変えてその物体を回避します。
落下防止センサー	赤外線距離測定によって、DEEBOT底面の赤外線センサーがDEEBOT底面から床までの距離を検知します。前方に階段がある場合(白い床面で高さ70mm以上、黒い床面で高さ55mm以上など)、識別した高さが設定した高さを超えるとDEEBOTは前進を停止し、落下防止機能が働きます。
カーペットセンサー	このセンサーは300kHzの超音波を発信します。そのエネルギーはカーペットに吸収されるため、反射エネルギーは閾値より低くなります。これによりDEEBOTはカーペットの存在を検知します。ECOVACSラボのテストによると、市販されている50種類以上のカーペットを識別できます。
衝突防止センサー	オプトカプリアスイッチの原理により、DEEBOTは衝突しそうになった障害物を回避します。
エッジセンサー	赤外線距離測定によって、エッジセンサーがDEEBOTと側方にある物体との距離を検知します。右側に壁や障害物がある場合、DEEBOTはエッジ清掃を実行して、スポットの見落としを防ぎ、衝突を回避します。
AIVIカメラ	AIカメラを使って周辺環境の画像を収集します。動画の録画が可能です。マイクとの連携で、リモート動画通話ができます。視野角:垂直70°、水平100°。

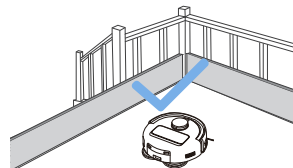
初期設定と使い方

① 清掃前の注意事項



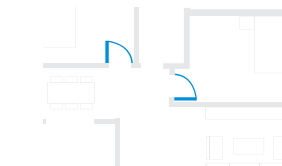
清掃する場所を片付ける

清掃面積を最大にするため、DEEBOTを使用する前に、テーブル、椅子、置き型扇風機などの家具を適切な場所に置き、体重計などの平たいものを片付けてください。



DEEBOTの落下を防ぐ

階段や段差などの高低差がある場所には物理的な障壁を設置し、ロボットが落下しないようにしてください。



部屋の扉を開けてDEEBOTの探索を助ける

初めて使用するときは、ロボットが室内を十分に探索できるように、すべての部屋の扉を開けてください。モップパッドアセンブリを取り外すと、ロボットは自動的に清掃のみモードに切り替わります。



清掃効率を上げるため、ケーブル、衣類、スリッパなど、床の上の物を片付けてください。



縁に房飾りのあるカーペットの上で本製品を使用する場合は、房飾りをカーペットの下に折り込んでください。



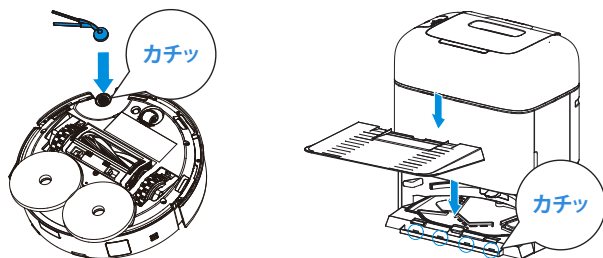
ナビゲーションモジュールを妨げないよう、廊下などの狭い場所には立たないでください。

2 クイックスタート

本製品を使用する前に、保護材をすべて取り外してください。

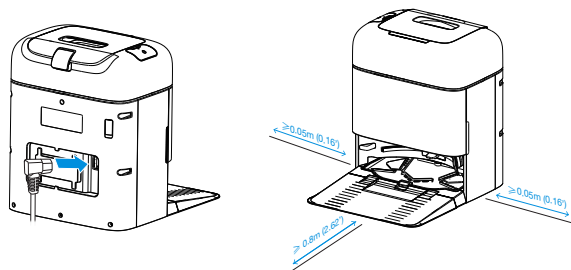
1. 取り付け

「カチッ」という音がして、正しく取り付けられたことを示します。



2. ステーションの組み立てと配置

OMNI ステーションを平坦で硬い床の上に置き壁に寄せて設置してください。左右 0.05 m 以内、前方 0.8 m 以内に障害物を置かないでください。

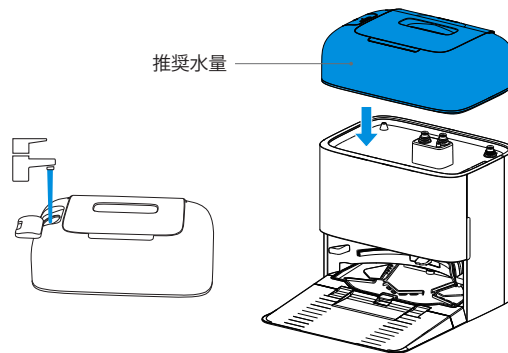


注:

- 鏡や光を反射する幅木などの反射物がステーションの近くにある場合は、その反射物の下から 14 cm を覆う必要があります。
- ステーションを直射日光の当たる場所に置かないでください。
- より快適に使用するため、Wi-Fi 信号が強い場所にステーションを設置してください。
- 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
- DEEBOT とステーションは、湿った布で拭いたり、液体を使用したりしないでください。
- 設置する床材の取扱説明書、注意事項をよく確認する。(ゴムの接触による変色に注意喚起されている床材の場合は、本製品の設置により変色する恐れがある。)
- 設置場所によってはクッションラバーの跡が残る場合がありますのでご注意ください。

3 内蔵水タンクに水を入れる

内蔵水タンクを取り出しタンクのプラグを取り外しタンクの推奨水量まで水を入れます。プラグを取り付け、清水タンクを元通りに取り付けます。



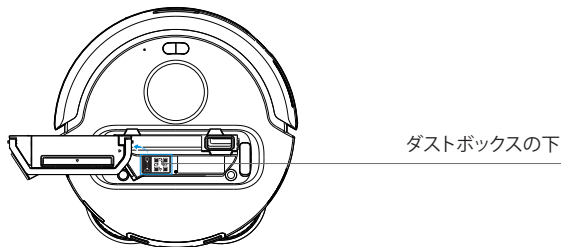
注:

- ECOVACS DEEBOT 専用洗浄剤 (別売) の使用をおすすめします。ご購入をご希望の場合は、ECOVACS HOME アプリをご利用いただくか、<https://www.ecovacs.com> をご覧ください。
- 故障を避けるため、ECOVACS DEEBOT 専用洗浄剤のみを使用してください。
- タンクを設置する前に、清潔な乾いたクロスでタンク表面の水分を拭き取ってください。
- 使用する前に、タンクの給水口のプラグがしっかり閉まっていること、排水口のカバーがしっかりと閉まっていることを確認してください。
- 水タンクに水跡がある場合がありますが、機能テストによるものです。安心してお使いください。

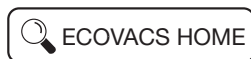
4 ECOVACS HOME アプリのダウンロード

利用可能なすべての機能を活用するために、ECOVACS HOME アプリから DEEBOT を操作することをおすすめします。

1. カバーの下の QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードします。



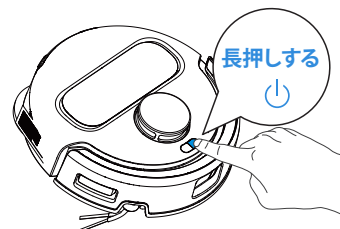
2. App Store または Google Play で「ECOVACS HOME」を検索し、アプリをダウンロードします。



注: アプリの指示に従って、登録、ログイン、接続を完了してください。

5 DEEBOT の電源オン

⏻ を長押しし、電源に接続されているステーションの前に DEEBOT を置きます。



6 DEEBOT とアプリの接続

Bluetooth 経由: DEEBOT とスマートフォンの Bluetooth をオンにします。アプリにスマートフォンの Bluetooth の権限を許可します。DEEBOT の QR コードをスキャンするか、アプリで または **Add** をタップして近くの DEEBOT を探します。

Wi-Fi 経由: アプリのページに表示される指示に従って、DEEBOT とアプリを他の方法で接続することもできます。

注: より快適にご利用いただくために、Bluetooth 経由で接続してください。

Wi-Fi ネットワークの要件:

- 2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用していること。
- ルーターが 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルに対応していること。
- VPN (バーチャルプライベートネットワーク) やプロキシサーバーを使用しないでください。
- 非公開ネットワークを使用しないでください。
- WPA および WPA2 で TKIP, PSK, AES/CCMP 暗号化を使用する。
- WEP EAP (エンタープライズ認証プロトコル) には対応していません。
- 北米では Wi-Fi チャンネルに 1 ~ 11、北米以外ではチャンネルに 1 ~ 13 を使用してください (地域の規制機関を参照のこと)。
- ネットワーク中継機 / リピーターを使用している場合、ネットワーク名 (SSID) とパスワードはプライマリネットワークと同じです。
- ルーターで WPA2 を有効にしてください。

Wi-Fi 表示灯 (オン / オフボタン)

	白色で素早く点滅	接続中
	白色で点灯	Wi-Fi 接続済み


遠隔起動、音声操作、2D/3D マップの表示と制御設定、パーソナライズされた清掃（製品によって異なります）などのインテリジェント機能には、常に更新されている ECOVACS HOME アプリが必要です。お客様が ECOVACS HOME アプリの特定の機能を使用して本製品を操作できるようにするには、当社がお客様の基本的かつ必要な情報の一部を処理するために、当社のプライバシーポリシーおよび利用規約に同意する必要があります。当社のプライバシーポリシーおよび利用規約に同意いただけない場合、上記の機能はご利用いただけません。ただし、手動操作では本製品の基本機能を引き続き使用できます。

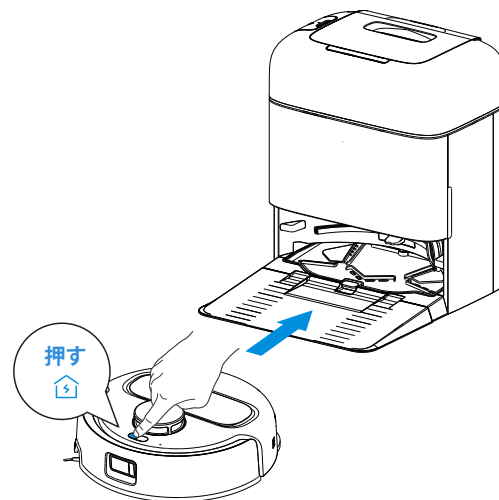
ネットワークインターフェースに関する情報

名前	説明
充電インターフェース	赤外線インターフェースはデフォルトでオフになっています。DEEBOT がステーションに戻るとオンになります。ステーションに電力を供給します。DEEBOT はステーションの充電端子に接続して充電することができます。
Bluetooth	ネットワーク設定中に DEEBOT をネットワークに接続するには、Bluetooth をオンにします。
Wi-Fi	アプリと DEEBOT 間のデータ転送を可能にし、アプリで DEEBOT を操作できるようにします。
ECOVACS HOME アプリ	ECOVACS 製品は、ネットワーク設定、マッピング、清掃モード選択などのスマート機能を提供します（機能は製品ごとに異なります）。これらの機能を利用するには、公式の ECOVACS HOME アプリをダウンロードして使用する必要があります。

*DEEBOT シリーズのロボット掃除機は、家庭の清掃シーンに合わせて設計されています。動作には家庭用 Wi-Fi ネットワークが必要です。ユーザーはルーター設定でアンチ DDOS 保護を設定できます。

7 DEEBOT の電源オンと充電

ECOVACS HOME アプリを使用するか、DEEBOT の  を押して、充電のために DEEBOT をドッキングさせます。



注:

- DEEBOT は電源がオフになっていると充電できません。
- DEEBOT を使用しないときは、電源をオンにしたまま充電してください。
- ステーションから清掃を開始することをおすすめします。清掃中はステーションを動かさないでください。

8 DEEBOT の操作

1. マッピングの開始

初めてマップを作成するときは、DEEBOT に付き添い、発生する可能性のある問題に対処してください。


DEEBOT は家具の下に入って動けなくなることがあります。次の解決策を参考にしてください。

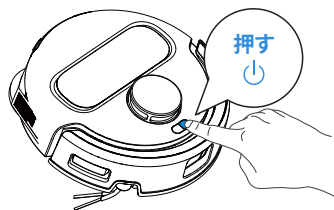
- ① アプリで仮想壁を設定してください。
- ② 高さの低い家具は、可能であれば持ち上げて高くして下さい。
- ③ 家具の下に侵入しないようバリアードを設置してください。

2. 清掃の開始

• DEEBOT は集塵とモップ洗浄のために自動的にステーションに戻ります。手動操作は不要です。

• 水拭き中、DEEBOT は床のタイプを認識し、カーペットが敷かれた場所では自動的にモップパッドを持ち上げます。手動でモップパッドやブラケットを取り外す必要はありません。長毛カーペットや、繊維の長さが 6 mm を超えるカーペットの上で DEEBOT を使用しないでください。清掃中は、長毛カーペットや繊維の長さが 6 mm を超えるカーペットはたたむか、アプリでカーペットが敷かれた場所に仮想壁を設定して立ち入り禁止ゾーンに指定することをおすすめします。


初めて清掃を行う前に、DEEBOT がステーション内にあり、フル充電されていることを確認してください。DEEBOT の  を押して起動します。ECOVACS HOME アプリを使って起動することもできます。




注:

- 洗えるモップパッドは頻繁に取り外さないでください。
- モップホルダーを布やその他の物で擦らないでください。
- アプリから通知があったら、お早めにモップパッドを交換してください。その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> をご覧ください。

3. 一時停止

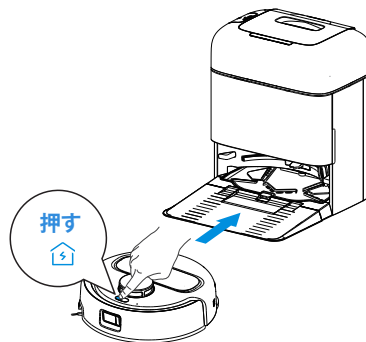
動作中に DEEBOT の  を押すと一時停止します。ECOVACS HOME アプリを使って DEEBOT を一時停止することもできます。

4. 起動

しばらく停止すると、DEEBOT のすべてのインジケータライトが消灯します。DEEBOT を起動するには、 を押してください。

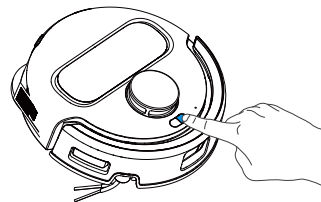
5. ステーションに戻る

ECOVACS HOME アプリを使って DEEBOT を呼び戻すか、DEEBOT の  ボタンを押して、充電のために DEEBOT をドッキングさせます。



6. スリープモード

DEEBOT は、約 5 時間ステーションの外に留まると、バッテリーを保護するためにスリープモードに入ります。再びオンにするには、DEEBOT を再起動してみてください。



定期的なメンテナンス

① メンテナンス頻度

DEEBOT の性能を最適に保つため、次の頻度でメンテナンス作業や部品の交換を実行してください。

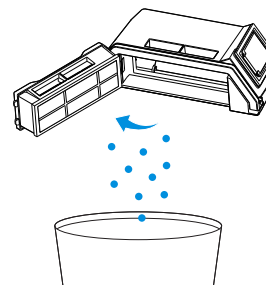
DEEBOTの部品	メンテナンス頻度	交換頻度
洗えるモップパッド	/	1～2ヵ月ごと
ダストバッグ	/	アプリから通知されたとき
サイドブラシ	2週ごと	3～6ヵ月ごと
メインブラシ	毎週	6～12ヵ月ごと
フィルター	毎週	3～6ヵ月ごと
ラインレーザーセンサー 回転ホイール 落下防止センサー バンパー DEEBOT の充電端子 OMNI ステーションの充電端子 TrueMapping	ほぼ毎月	/
内蔵水タンク	毎月	/
集塵ボックス	毎月	/
ステーション本体と底部	毎月	/

注: その他のアクセサリについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> をご覧ください。

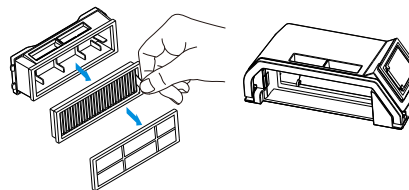
② DEEBOT メンテナンス

ダストボックスとフィルターのお手入れ

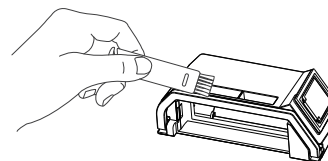
1. ダストボックスカバーを開けて、ダストボックスのゴミを排出します。



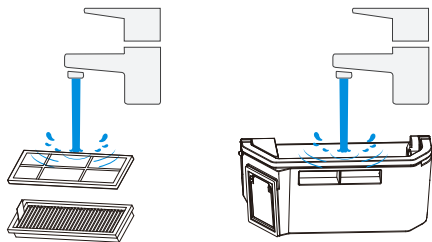
2. フィルターネットを開いて、フィルターを取り外します。



3. フィルターネットの両面のほこりを取り除きます。



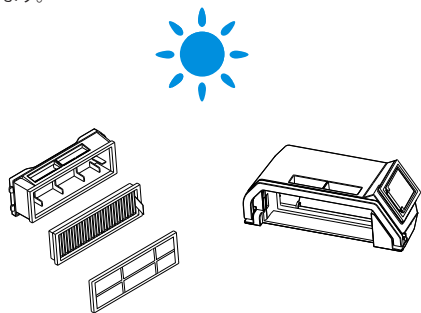
4. ダストボックスとフィルターを水ですすぎ、よく水を切ります。



注:

- 上記のように、フィルターを水ですすいでください。
- フィルターを傷つける恐れがあるため、指やブラシで直接こすらないでください。

5. 自然乾燥させます。

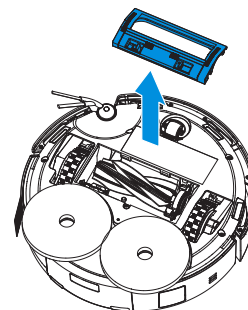


注:使用前にフィルターを完全に乾かしてください。

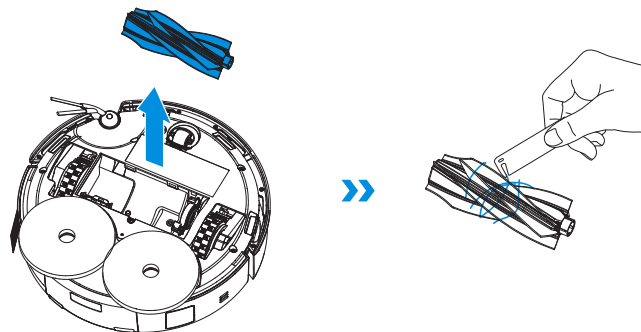
③ メインブラシとサイドブラシのお手入れ

メインブラシの清掃

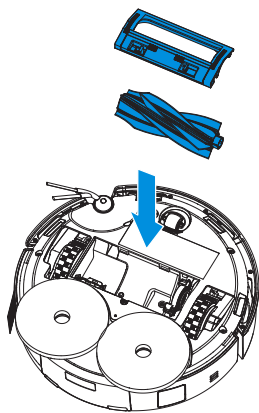
1. カバーを開けます。



2. メインブラシを取り外して清掃します。

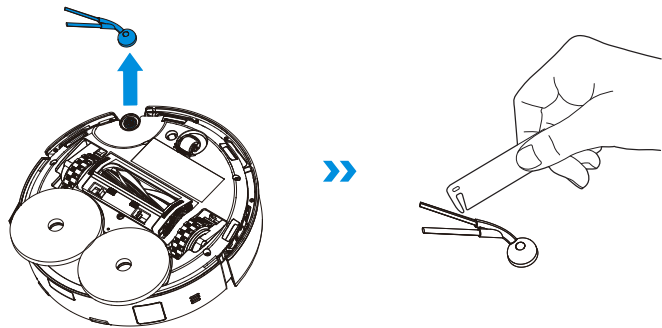


3. メインブラシとメインブラシカバーを取り付けます。



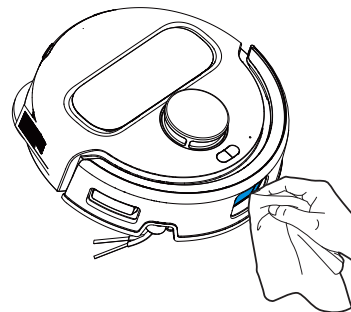
サイドブラシの清掃

サイドブラシを取り外して清掃します。

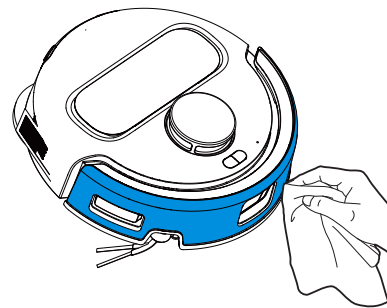


4 その他の部品のお手入れ

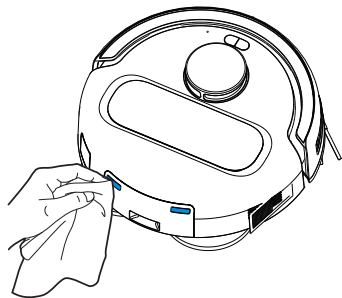
センサー窓の清掃



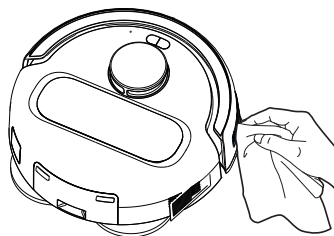
バンパーの清掃



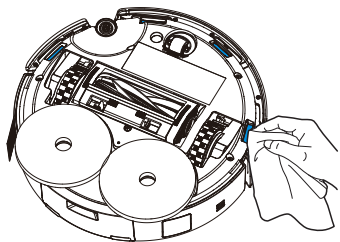
充電端子の清掃



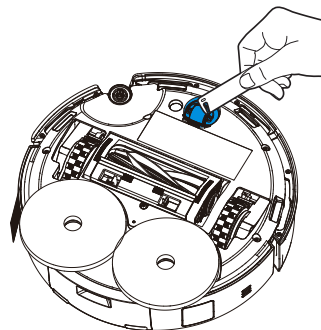
エッジセンサーの清掃



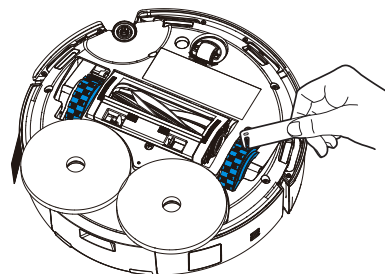
落下防止センサーの清掃



キャストの清掃



駆動輪の清掃



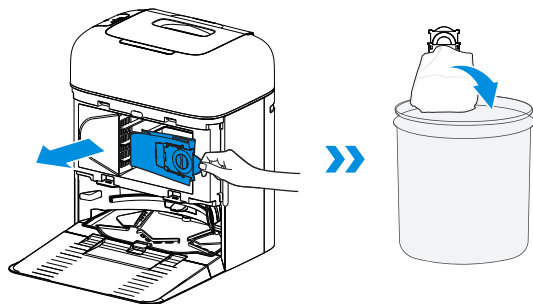
注:

- その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> をご覧ください。
- 部品はきれいな乾いたクロスで拭いてください。濡れたクロスは絶対に使用しないでください。洗剤スプレーや洗剤は使用しないでください。
- 充電端子には繊細な電子部品が含まれています。乾いたクロスで拭いてください。水による損傷を防ぐため、濡れたクロスは使用しないでください。

ステーションのメンテナンス

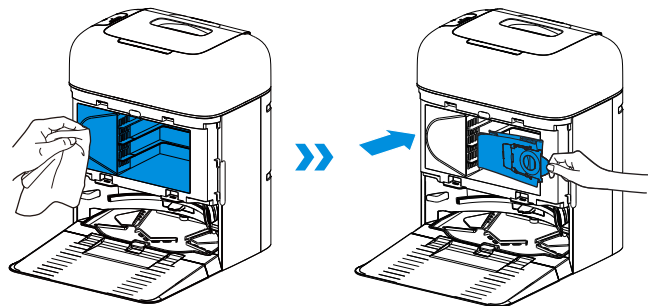
① ダストバッグのお手入れ

1. ダストバッグを捨てます。

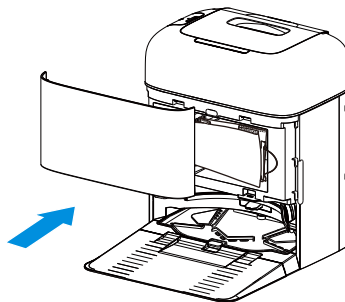


注: ほこりの漏れを防ぐため、取っ手を持ち上げてダストバッグを取り出してください。

2. 集塵ボックスを乾いたクロスで拭き、新しいダストバッグを取り付けます。

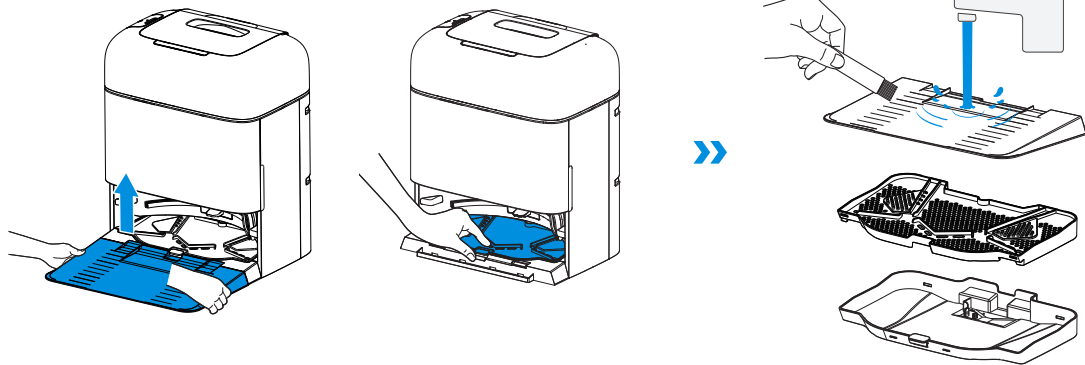


3. 集塵ボックスカバーの上部を溝に挿入し、押さえてしっかりと閉めます。

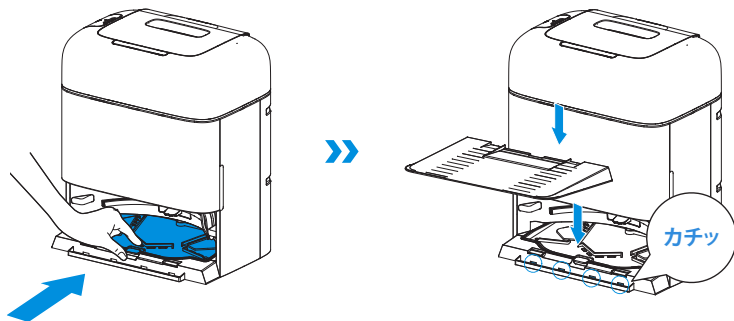


② モップ洗浄トレイのお手入れ

1. ベースとモップ洗浄トレイを取り外し、清掃します。




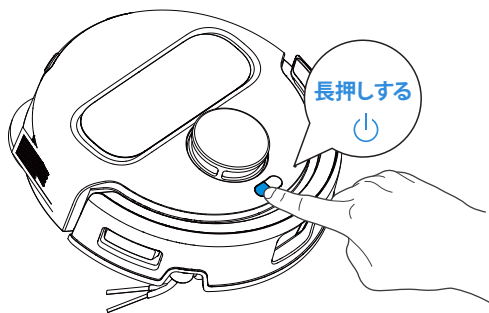
2. 清掃したベースとモップ洗浄トレイを取り付けます。



注:スムーズな動作のため、モップ洗浄トレイを正しく取り付けてください。

③ 保管

保管する前に DEEBOT を完全に充電し、電源をオフにしてください。DEEBOT をステーションに戻してから、を長押しして DEEBOT の電源をオフにしてください。バッテリーの過放電を防ぐため、1 半ごとに再充電してください。





注: DEEBOT は電源がオフになっていると充電できません。

- DEEBOT を使用しないときは、電源をオンにしたまま充電することをおすすめします。
- バッテリーが過放電になったり、長期間使用されなかった場合、DEEBOT が充電できなくなることがあります。カスタマーケアまでお問い合わせください。その場合は自分で分解せず、カスタマーサポートまでお問い合わせください。
- 清掃ツールはお客様によるご準備が必要です。



トラブルシューティング

製品の使用中に以下のような状況が発生した場合は、表内の解決方法を試してみてください。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
1	DEEBOT が ECOVACS HOME アプリに接続できません。	入力した Wi-Fi 名またはパスワードが間違っている。	正しいネットワーク名 (SSID) とパスワードを入力してください。
		DEEBOT が Wi-Fi の電波が届く範囲の外にいる。	DEEBOT がご自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にあることを確認してください。できるだけルーターの近くに設置してください。
		DEEBOT が設定状態になっていない。	DEEBOT が電源に接続され、オンになっていることを確認してください。カバーを開け、リセットボタンを押してください。音声ガイドが聞こえたら、DEEBOT は設定状態に入ります。
		Wi-Fi リストにご自宅の Wi-Fi がない。	1. Wi-Fi 名に特殊文字が含まれていないか確認してください。次のような特殊文字は使用できません。!@#& ¥% ^ 2. 5 GHz ネットワークは使用しないでください。
		誤ったアプリがインストールされている。	ECOVACS HOME アプリをダウンロードしてインストールしてください。
		2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用していない。	DEEBOT は 5 GHz ネットワークに対応していません。2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用してください。
2	マップが失われます。	清掃中に DEEBOT を動かすと、マップが失われることがある。	DEEBOT をステーションの前に移動して、マップを復元してください。保存されたマップをアプリの「マップ管理」から探し、「このマップを使用する」をタップして復元します。それでも問題が解決しない場合は、マッピングを再度開始してください。
		清掃中に DEEBOT を動かすと、マップが失われることがある。	清掃中は DEEBOT を動かさないようにしてください。
		自動清掃が完了していない。	清掃後、DEEBOT が自動的にステーションに戻ることを確認してください。
3	アプリで家具マップを作成できません。	清掃中に DEEBOT を動かすと、マップが失われることがある。	清掃中は DEEBOT を動かさないでください。
		自動清掃が完了していない。	清掃後、DEEBOT が自動的にステーションに戻ることを確認してください。
4	サイドブラシが外れます。	サイドブラシが正しく取り付けられていない。	サイドブラシを取り付ける際は、「カチッ」という音がするまで押し込み、正しく取り付けられたことを確認してください。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
5	信号が見つかりません。 DEEBOT が充電ステーション に戻れません。	ステーションが正しく設置されていない。	[DEEBOT の電源オンと充電] セクションの指示に従って、ステーションを正しく設置してください。
		ステーションの電源が切れているか、移動されている。	ステーションが電源に接続されているか確認してください。ステーションを移動させないでください。
		DEEBOT がステーションから清掃を開始していない。	DEEBOT がステーションから清掃を開始するようにすることをおすすめします。
		充電経路がブロックされている。たとえば、ステーションのある部屋の扉が閉まっている場合など。	ステーションへの経路に障害物がないようにしてください。
6	DEEBOT が清掃を完了する前にステーションに戻ります。	部屋が広すぎるため、DEEBOT が充電ステーションに戻る必要がある。	中断後再開清掃機能を有効にしてください。詳しくは、アプリの指示に従ってください。
		家具や囲いで遮られていて、DEEBOT が到達できない場所がある。	家具や日用品を適切な位置に置いて、清掃する場所を片付けてください。
7	DEEBOT が充電しません。	DEEBOT がオンになっていない。	充電する前に、DEEBOT の  を長押しして起動してください。
		DEEBOT の充電端子がステーションの充電端子と接続していない。	DEEBOT の充電端子がステーションに接続され、  が点滅していることを確認してください。DEEBOT とステーションの充電端子が汚れていないか確認してください。[定期的なメンテナンス] のセクションに従って清掃してください。
		ステーションが電源に接続されていない。	ステーションが電源に接続されているか確認してください。
		ベースが正しく取り付けられていない。	[クイックスタート] のセクションを参照して、正しく取り付けてください。
		DEEBOT を長期間使用しない場合、バッテリーが過放電状態になる。	DEEBOT を定期的に使用することをおすすめします。長期間使用していなかったためバッテリーの充電ができない場合は、コールセンターまでお問い合わせください。
8	清掃中に大きな音がします。	メインブラシ/サイドブラシが絡まっているか、ダストボックス/フィルターが詰まっている。	メインブラシ、サイドブラシ、ダストボックス、フィルターなどを定期的に清掃することをおすすめします。
		DEEBOT が最大モードになっている。	標準モードに切り替えてください。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
9	DEEBOT が作業中に動けなくなるとして停止します。	DEEBOT が床の上の物（電線、カーテン、カーペットの縁など）に絡まっている。	DEEBOT は様々な方法で抜け出すことを試みます。失敗した場合は、手で障害物を取り除いて再起動してください。
		DEEBOT が、同じような高さの入り口がある家具の下で動けなくなっている可能性がある。	物理的な柵を設けるか、ECOVACS HOME アプリで仮想壁を設定してください。
		DEEBOT が狭いエリアで動けなくなっている。	ご自宅を片付けるか、物理的な障壁を設けるか、ECOVACS HOME アプリで仮想境界線を設定してください。
10	DEEBOT の移動ルートが乱れたり、動きが偏ったり、同じ場所を繰り返し走り回り、小さなエリアを見落とすといった問題が発生します。（ただし、DEEBOT が一時的に広いエリアの清掃を見落としに戻ってしっかりと清掃します。）	延長コードやスリッパなど床の上にある物が、DEEBOT の正常な動作に影響を与えます。	清掃前に、床に散らばった延長コードやスリッパなどの物をできるだけ片付けてください。清掃中に見落とししたエリアがある場合、DEEBOT は戻ってしっかりと清掃します。清掃中は DEEBOT を動かしたり、移動を妨げたりしないでください。
		DEEBOT が階段や敷居、ドアストリップに乗り上げた場合、駆動輪が床面でスリップして室内環境全体を移動する能力に影響することがある。	該当する部屋の扉を閉め、別に清掃することをおすすめします。清掃後、DEEBOT は開始位置に戻ります。この方法を使用すると確実に清掃できます。
		ワックスをかけたり磨いたりしたばかりの床や、滑りやすいタイルの上では、駆動輪と床の間の摩擦が少なくなることがある。	床用ワックスが乾くのを待ってから清掃してください。
11	リモコンの反応が遅れます。	Wi-Fi の電波が弱く、反応が遅くなっています。	Wi-Fi の電波が強い場所で DEEBOT を使用することをおすすめします。
12	DEEBOT がステーションに戻ったときにダストボックスのゴミを排出しません。	集塵ボックスが閉まっていない。	集塵ボックスを閉めてください。
		ECOVACS HOME アプリで自動ゴミ収集機能がオンになっていない。	ECOVACS HOME アプリで自動集塵機能をオンにしてください。
		ステーションにダストバッグが取り付けられていない。	ダストバッグを正しく取り付け、集塵ボックスを開けてください。
		DEEBOT を手動でステーションに戻すと、自動集塵機能が作動しない場合がある。	DEEBOT がステーションに自動で戻るようにすることをおすすめします。手動で動かさないでください。
		おやすみモードのとき、DEEBOT はステーションに戻ってもダストボックスからゴミを排出しない。	ECOVACS HOME アプリでおやすみモードをキャンセルするか、手動でゴミを排出してください。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
13	DEEBOT がダストボックスからゴミを排出しません。	OMNI ステーションが集塵効率の低下を検出している。	[定期的なメンテナンス]のセクションに従ってダストバッグを交換し、集塵ボックスを閉めてください。ダストバッグがいっぱいになっていない場合は、取り外してから再び取り付けることができます。
		ダスト排出口に異物が詰まっている。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口から異物を取り除いてください。
14	集塵ボックスの内側が汚れています。	微粒子は集塵ボックス内でダストバッグを通して捕集されません。	集塵ボックスの内側を清掃してください。
		ダストバッグが破れている。	ダストバッグを確認し、交換してください。
15	DEEBOT の作動中にほこりが漏れます。	ダスト排出口に異物が詰まっている。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口から異物を取り除いてください。
16	モップホルダーが回転しません。	モップホルダーが正しく取り付けられていない。	モップホルダーを正しく取り付けてください。モップパッドアセンブリを取り付け用スロットに、「カチッ」という音がするまで押し込んでください。
		モップホルダーが異物によって遮られている。	異物を取り除いてください。
17	駆動輪が動きません。	駆動輪に異物が絡まっているか詰まっている。	駆動輪を回しながら押しつけて確認し、絡まったり詰まったりしている異物を取り除いてください。それでも問題が解決しない場合は、コールセンターまでお問い合わせください。
18	洗浄シンクの水がいっぱいになり、排水できません。音声ガイドが洗浄シンクがいっぱいになっていると通知しません。	内蔵水タンクが正しく取り付けられていない。	内蔵水タンクを軽く押さえて、正しく取り付けられていることを確認してください。
		汚水タンクのカバーが密閉されていない。	汚水タンクのカバーがしっかりと密閉されていることを確認してください。
		ステーションが正常に排水できない。	 を長押しして、ステーションが正常に排水するか確認してください。モップパッドの洗浄中に問題が発生した場合、アプリから清掃を中止し、  を長押ししてステーションが正常に排水するか確認してください。正常に排水されたら、洗浄シンクの水位センサーを乾拭きしてください。ステーションが排水できない場合は、汚水タンクとステーションの間に異物がないか確認し、異物を取り除いてください。
		洗浄シンクの吸入口に異物が詰まっている。	洗浄シンクの吸入口に異物が詰まっていないことを確認してください。

No.	異常	考えられる原因	解決方法
		モップ洗浄トレイが汚れている。	取り外し可能なトレイとスクレーパーを取り出し、水できれいに洗い流してください。
		取り外し可能なトレイに水が入っていない場合、フロートが正しい位置まで下がっているか確認してください。	洗浄シンクを取り外し、フロートを正しい位置にしてください。
		上記の解決方法を試しても問題が解決しない。	ステーションのプラグを抜き、再度差し込んでください。それでも問題が解決しない場合は、コールセンターまでお問い合わせください。
19	モップホルダーが正しく動作しません。	モップホルダーに異物が絡まったり詰まったりしている。	異物を取り除いてください。
		モップホルダーが外れている。	モップホルダーを元通りに取り付け、「カチッ」という音がしてモップホルダーが正しく取り付けられたことを確認してください。

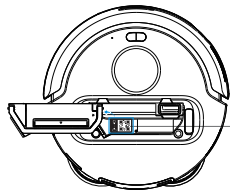
技術仕様

型番	DJX28-01EE
定格入力	20V $\overline{\text{---}}$ 1A
充電時間	約 4 時間
ステーションモデル	CH2536
定格入力	100V \sim 50-60Hz
定格出力	20V $\overline{\text{---}}$ 1A
定格入力電流（充電時）	0.5A
電力（ゴミ収集状態）	2.8 A
電力（モップを洗浄する時）	0.5A
電力（乾燥状態）	1.1 A
ネットワークスタンバイ電力	2.00W 未滿

無線モジュールの出力電力は 100 mW 未滿です。

注: 継続的な製品改良のため、技術仕様および設計仕様は変更される場合があります。その他のアクセサリについては、<https://www.ecovacs.com> をご覧ください。

製品要件（機能性とユーザー体験）に基づき、当社の製品は超低消費電力機器アーキテクチャを採用していないため、電源オフモードもスタンバイモードもありません。製品の充電が完了すると、20 分以内にネットワークスタンバイモードに移行します。ネットワーク接続スタンバイモード時の消費電力は 1.6W です。



モバイルカメラで QR コードをスキャンして、ユーザーガイドを入手してください。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE

SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This Appliance is not intended for use by persons (including children) with reduced physical, sensory or mental capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance by a person responsible for their safety.
2. Children should be supervised to ensure that they do not play with the Appliance.
3. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
4. If there is a drop off in the cleaning area due to a

step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.

5. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Do not use without dust bin and/or filters in place.
8. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
9. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
10. Do not use in extremely hot or cold environments (below $-5^{\circ}\text{C}/23^{\circ}\text{F}$ or above $40^{\circ}\text{C}/104^{\circ}\text{F}$).
11. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
12. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
13. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or

- any item that may clog the Appliance.
14. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
 15. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
 16. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
 17. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
 18. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
 19. The lithium battery type suitable for CH2536 is Max. 4 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 2,944mAh. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
 20. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
 21. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
 22. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Home Service Robotics cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
 23. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
 24. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the OMNI Station.
 25. Use only the original rechargeable battery and OMNI Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
 26. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or OMNI Station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.
 27. Do not use the OMNI Station if it is damaged.

The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.

28. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or OMNI Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
29. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the OMNI Station.
30. Remove the Appliance from the OMNI Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
31. When not using the OMNI Station for a long period of time, please unplug it.
32. If the robot will not be used for a long time, power OFF the robot for storage and unplug the OMNI Station.
33. WARNING-Add clean water into the clean tank only.
34. **WARNING:** For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply unit CH2536 provided with the Appliance.










To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Device Update

Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific.

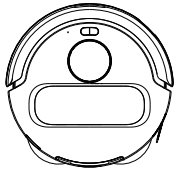
Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

	Class II
	Short-circuit-proof safety isolating transformer
	Switch mode power supply
	For indoor use only
	Direct current
	Alternating current
	Before charging, read the instructions.
	Polarity of the charging port
	Time-lag miniature fuse-link

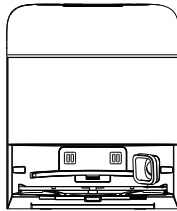
The remote surveillance is for the absolute private use of non-public, private owned places for the pure self-protection and single control intended only. Please be aware of the local data protection based legal obligations in case of use. No surveillance of public places, especially with clandestine intent and/or on the part of the employer without justified reasons. Such not justified use is in the risk and responsibility of the user only.

PACKAGE COMPONENTS

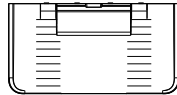
1 Package Contents



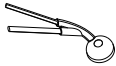
DEEBOT



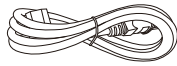
OMNI Station



Base



Side Brush



Power Cord



Instruction Manual

Note: Figures in this manual are for reference only and may differ from the appliance. Product design and specifications are subject to changes without notice.

2 Packaging Reuse: DIY Pet House

This packaging box is made of thick, durable material, allowing you to easily transform it into a cozy pet house, combining environmental protection with fun.

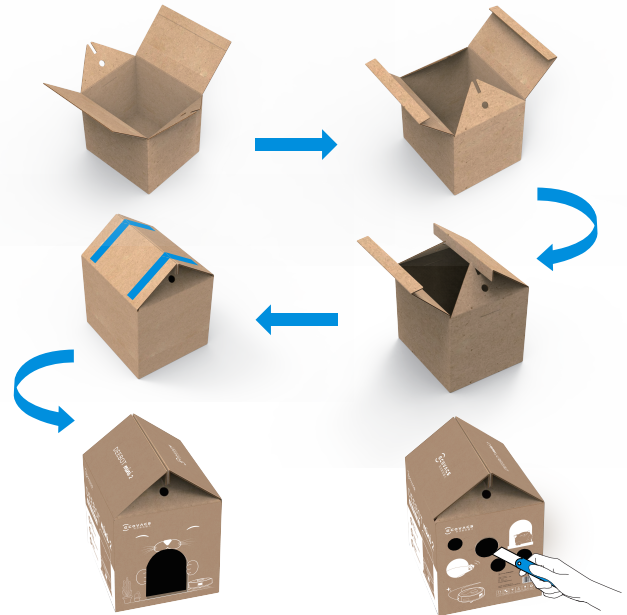
Step 1: Construct the Roof

- Fold the top flaps of the box inward along the pre-scored creases to form the roof structure.
- Secure the seams tightly using packaging tape.

Step 2: Cut the Doorway

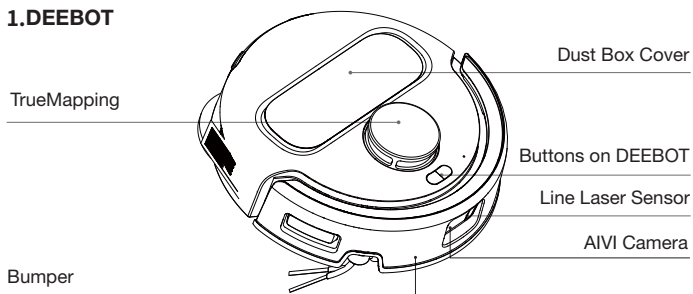
- On any side of the box, use a utility knife (or box cutter) to cut a doorway suitable for your pet to enter and exit.

Note: Please use caution when handling the utility knife to avoid cuts or injury.



3 Product Diagram

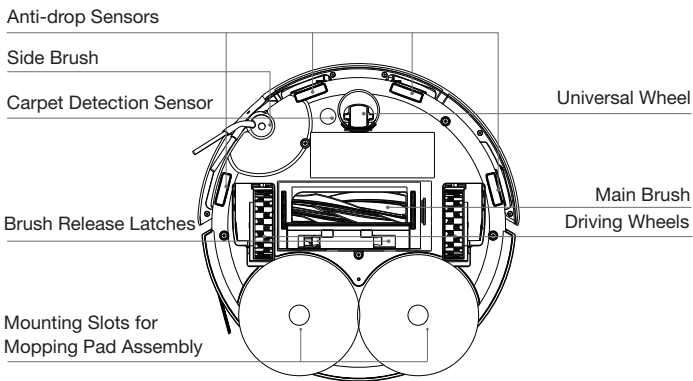
1. DEEBOT



Buttons on DEEBOT:

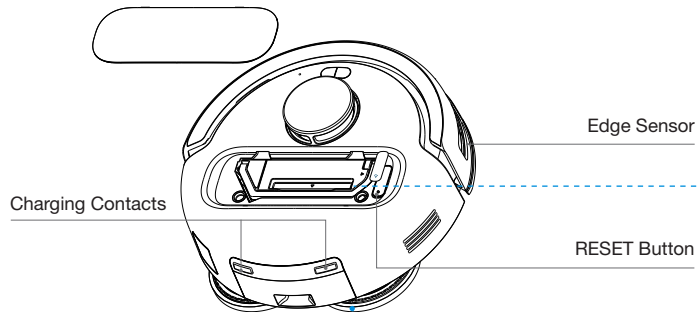
- Press: Return to the Station Press and hold: Station Self-Cleaning (only available when DEEBOT is inside the station)
- Press: Toggle Start/Pause/Continue Press and hold: Power on/Power off
- Press: Bluetooth Network Setup Press and hold: Reset (Under the dust Box cover)
- + Press: Wi-Fi Network Setup + Press and hold: Child Lock

2. Bottom Back View

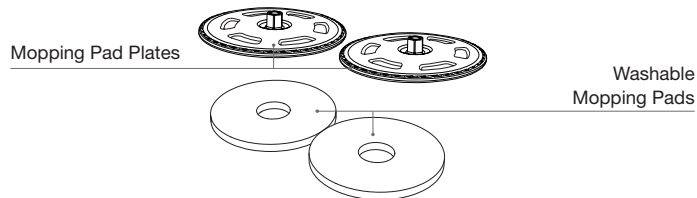


3. Inside DEEBOT (Under the Dust Box Cover)

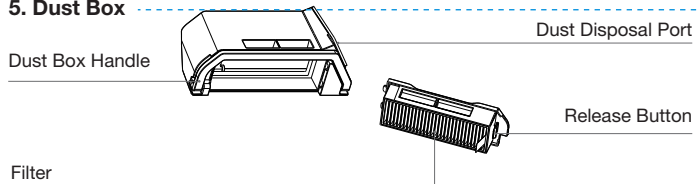
- RESET Button
- Network Setup: Press the RESET Button, and you will hear a voice prompt to connect DEEBOT with the APP.
- Restore default settings: Press the RESET button and hold. After you hear the voice prompt, the startup music will play, and DEEBOT will be restored to the default settings.



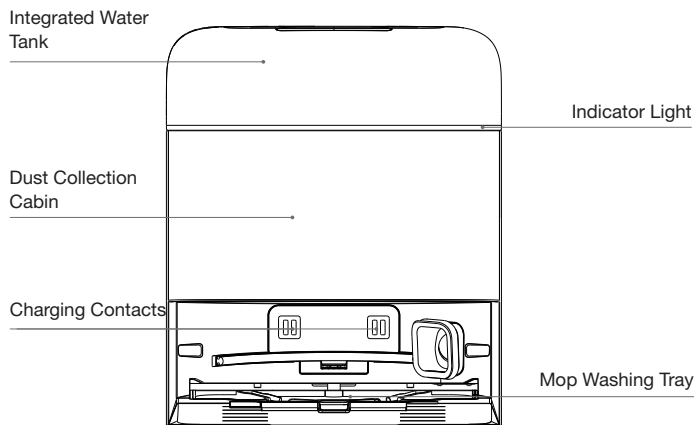
4. Mopping Pad Assembly



5. Dust Box



6. OMNI Station (Front)

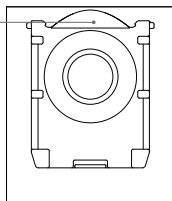


Note:

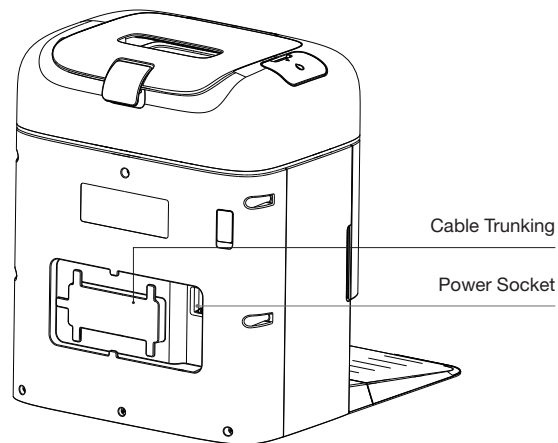
- Flashing Red: Please check the ECOVACS HOME App for the reason.
- If DEEBOT fails to charge, please wipe charging contacts with a clean and dry cloth.

7. Dust Bag

Dust Bag Handle



8. OMNI Station (Back)



9. Indicator Light

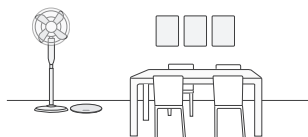
Indicator	Light Effect	State
DEEBOT	Breathing White	Charging
	Solid White	Fully Charged/Running/ Pause
	Solid Red	Low Battery
	Flashing Red	DEEBOT Alarm
	Flashing Yellow	Station Alarm
	Flashes Yellow Twice	Childlock Enabled (Buttons are inactive)

10. Sensors Overview

Name	Functional Description
TrueMapping	Based on the triangulation formed through the emitted laser and the received laser reflected from surrounding objects, TrueMapping calculates the precise distance between DEEBOT and nearby objects algorithms. When DEEBOT moves, the positions of surrounding objects are determined to create a spatial map of its surroundings. The measurement range is 6 m.
Line Laser Sensor	Laser Ranging is applied to measure the distance between DEEBOT and surrounding objects within 0.3 m by emitting lasers and detecting reflected light. When the sensor recognizes an object nearby that exceeds the maximum height, DEEBOT turns automatically to avoid it.
Anti-drop Sensors	With Infrared Ranging, the distance between DEEBOT's bottom and the ground is detected by the infrared sensors at the bottom. DEEBOT will not move forward when there are stairs in front (such as when the height of the white surface is 70 mm or more, or the height of the black surface is 55 mm or more) and the identified exceeds the preset one, realizing the Anti-drop.
Carpet Detection Sensor	The sensor emits 300 kHz ultrasound, which energy will be absorbed by the carpet, causing the echoed energy to be lower than the threshold. DEEBOT thereby detects the carpet's presence. In the ECOVACS laboratory, more than 50 types of carpets available on the market are identified.
Anti-collision Sensor	With the principle of the Optocoupler Switch, DEEBOT will avoid obstacles when they are about to collide.
Edge Sensor	With Infrared Ranging, the edge sensor detects the distance between DEEBOT and objects on the side. When there is a wall or obstacles on the right, DEEBOT performs edge cleaning to avoid missing any spots and prevent collisions.
AIVI Camera	Use AI cameras to collect images of the surrounding environment. Realize video recording. Through interaction with MIC, remote video call can be realized. Field of View: 70° vertical and 100° horizontal.

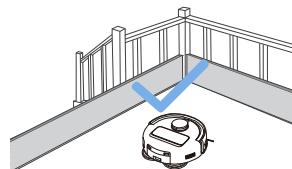
INITIAL SETUP AND USE

1 Notes before Cleaning



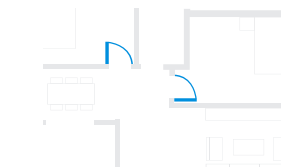
Tidy up the Area to be Cleaned

For the maximum cleaning area possible, put furniture, such as tables, chairs, and pedestal fans, in their proper place and put away low-lying items, such as weight scales, before using DEEBOT.



Prevent DEEBOT from Falling

Place a physical barrier at the edge of a drop, such as staircases and steps, to stop the robot from falling over the edge.



Open Doors and Help DEEBOT Explore

Open all room doors to help the robot fully explore your house during the first use. Besides, remove the mopping pad assembly and the robot will be automatically switched to the vacuum-only mode.



Remove objects, including cables, clothes, and slippers, from the floor to improve cleaning efficiency.



Before using the product on a carpet with tasseled edges, please fold the tassels under the carpet.



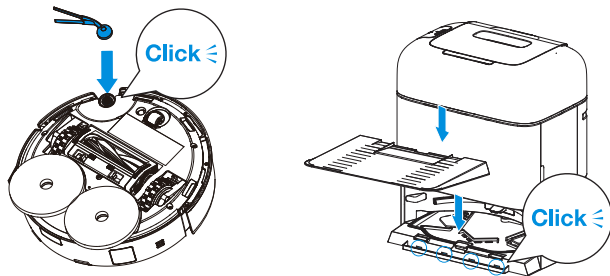
Please do not stand in narrow spaces, such as hallways, to avoid blocking Navigation Module.

2 Quick Start

Remove all protective materials before using the appliance.

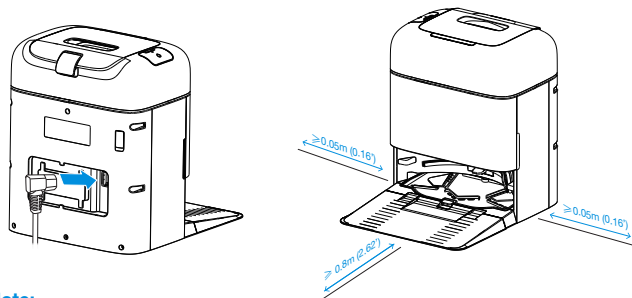
1. Installation

The sound of "click" indicates proper installation.



2. Assemble and Place the Station

Place the OMNI station against the wall on a flat, hard surface. Do not place items within 0.05 m on either side and 0.8 m in front.

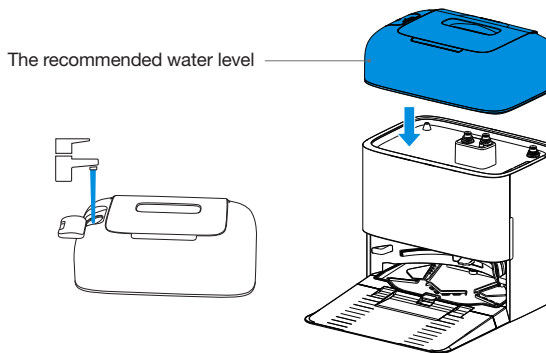


Note:

- If there are reflective objects such as mirrors and reflective skirting lines near the station, the bottom 14 cm of such objects should be covered.
- Do not place the station under direct sunlight.
- Place the station in a location with a strong Wi-Fi signal for better user experience.
- Do not use the appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
- Do not wipe DEEBOT and the station with a damp cloth or use any liquid.

3 Fill the Integrated Water Tank

Take out the integrated water tank, remove the tank plug, and fill the tank with water up to the recommended water level. Insert the plug and reinstall the clean water tank.



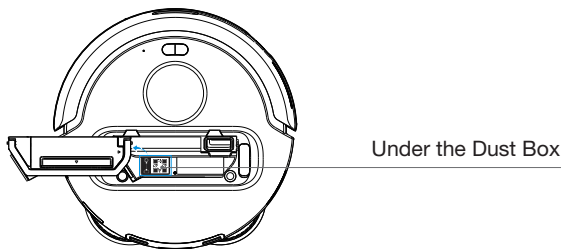
Note:

- It is recommended that ECOVACS DEEBOT cleaning solution (sold separately) be used. If you wish to purchase it, please go to the ECOVACS HOME App or visit <https://www.ecovacs.com>.
- Use only ECOVACS DEEBOT cleaning solution to avoid malfunctions.
- Use a clean, dry cloth to wipe off any water on the surface of the tank before placing it in position.
- Ensure the tank plug in the clean water inlet is securely closed, and the waste water outlet cover is properly sealed before use.
- Any water marks in the water tanks are from function testing. Please use it with confidence.

4 Download the ECOVACS HOME APP

To enjoy all available features, it is recommended that you control your DEEBOT via the ECOVACS HOME App.

1. Scan the QR code under the top cover to download the App.




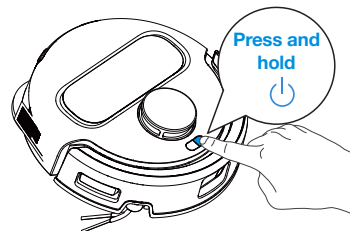
2. Search "ECOVACS HOME" on the App Store or Google Play to download the App.




Note: Follow the instructions on the App to complete the registration, login, and connection.

5 Power on DEEBOT

Press and hold , then place DEEBOT in front of the station that is connected to power supply.



6 Connect DEEBOT with APP

Via Bluetooth: Turn on DEEBOT and your mobile phone Bluetooth. Allow the App to obtain mobile phone Bluetooth permission. Tap to scan the QR Code on DEEBOT or tap  or **Add** in the App to find the nearby DEEBOT.


Via Wi-Fi: You can also choose to connect DEEBOT with the App through other methods according to the prompts on the App's page.

Note: Please connect via Bluetooth for a better experience.

Wi-Fi Network Requirements:

- You are using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as that of your primary network.
- Please enable the WPA2 on your router.

Wi-Fi Indicator Light (on/off button)

	Fast flashing white light	Connecting
	Steady white light	Connected to Wi-Fi

Please be aware that intelligent features such as remote startup, voice interaction, 2D/3D map display and control settings, and personalized cleaning (depending on the Appliance) require the ECOVACS HOME App, which is constantly updated. You need to agree to our Privacy Policy and User Agreement so that we can process some of your essential and necessary information before you can use certain features of the ECOVACS HOME App to control the Appliance. If you disagree with our Privacy Policy and User Agreement, such features will be unavailable. However, you can still use the basic features of this appliance for manual operation.

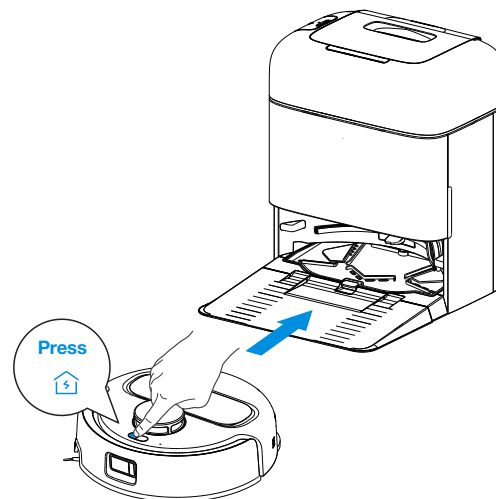
Network Interface Information

Name	Description
Charging Interface	The infrared interface is turned off by default, and it is activated when DEEBOT is in the station. Provides power to the station, and DEEBOT can connect with the charging contacts on the station for charging.
Bluetooth	Enable Bluetooth to connect DEEBOT to the network during the network setup process.
Wi-Fi	Facilitate data transfer between the app and DEEBOT, enabling control of DEEBOT through the app.
ECOVACS HOME App	COVACS products offer smart functions such as network setup, mapping, and cleaning mode selection (specific to each product). To utilize these features, users need to download and use the official ECOVACS Home App.

*The DEEBOT series robotic vacuums are designed for domestic cleaning scenarios. A home Wi-Fi network is required for operation, and anti-DDOS protection can be configured by users through route settings.

7 Power on and Charge DEEBOT

Use the ECOVACS HOME App or press  on DEEBOT, to allow DEEBOT to dock for charging.



Note:

- DEEBOT cannot charge when it is powered off.
- When DEEBOT is not in use, keep it powered on and charging.
- It is recommended to start cleaning from the station. Do not move the station while cleaning.

8 Operate DEEBOT


1. Start Mapping

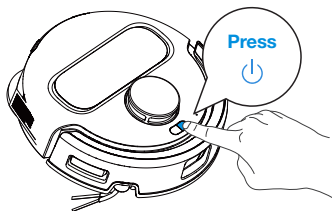
DEEBOT may get stuck under furniture. Please refer to the following solutions:

- ① Raise the low-sitting furniture if possible;
- ② Cover the bottom of the furniture;
- ③ Set up a virtual boundary via the App.

2. Start Cleaning

- DEEBOT automatically returns to the station for dust collection and mop washing, requiring no manual intervention.
- When mopping, DEEBOT recognizes floor types and automatically lifts the mopping pads when encountering carpets, eliminating the need to manually remove the pads and bracket. Please do not use DEEBOT on shaggy rugs or carpets with fibres longer than 6 mm. It is recommended to fold up the shaggy rugs with fibres longer than 6 mm during the cleaning process, or set the carpeted area as a no-entry zone by setting a Virtual Boundary in the App.

Please ensure that DEEBOT is in the station and is fully charged before cleaning for the first time. Press  on DEEBOT to start. You can also use the ECOVACS HOME App to start.




Note:

- Do not frequently remove washable mopping pads.
- Do not scratch the mopping pad plates with a rag or other objects.
- Replace the mopping pads in time as prompted by the App. Explore more accessories in the ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.


3. Pause

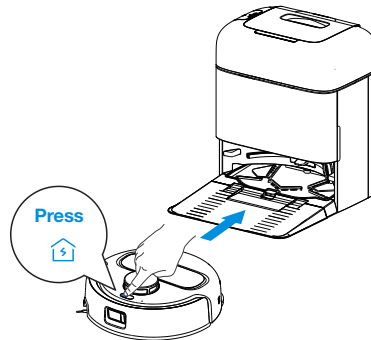
Press  on DEEBOT to pause it while it is working. You can also use the ECOVACS HOME App to pause DEEBOT.

4. Wake Up

After pausing for a while, all indicator lights on DEEBOT will go out. To wake up DEEBOT, press .

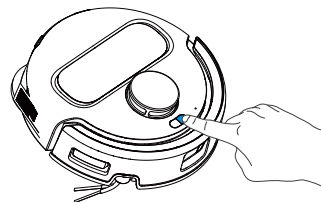
5. Back to Station

Use the ECOVACS HOME App to recall DEEBOT or press the  button on DEEBOT to allow DEEBOT to dock for charging.



6. Deep Sleep Mode

DEEBOT will enter deep sleep mode if it stays outside the station for about 5h to protect the battery. Try restarting DEEBOT to reactivate it.



REGULAR MAINTENANCE

1 Maintenance Frequency

To keep DEEBOT running at peak performance, perform maintenance and replace parts at the following frequencies:

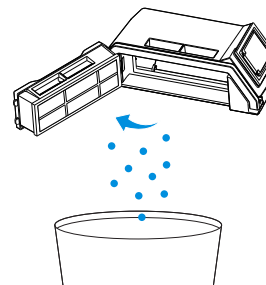
DEEBOT Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Washable Mopping Pad	/	Every 1-2 months
Dust Bag	/	When App prompts
Side Brush	Every 2 weeks	Every 3-6 months
MainBrush	Every week	Every 6-12 months
Filter	Every week	Every 3-6 months
Line Laser Sensor Universal Wheel Anti-drop Sensors Bumper Charging Contacts on DEEBOT Charging Contacts on OMNI Station TrueMapping	Approx. every month	/
Integrated Water Tank	Every month	/
Dust Collection Cabin	Every month	/
Body and Bottom of the Station	Every month	/

Note: Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

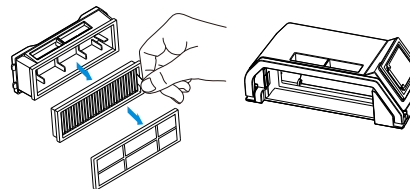
2 DEEBOT Maintenance

Maintain Dust Bin and Filter

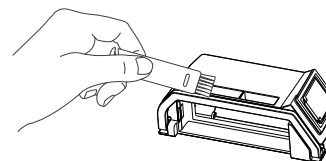
1. Open the dust bin cover and empty the dust box.



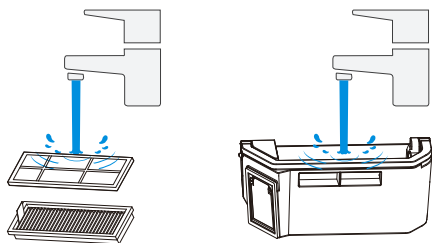
2. Open the filter net and remove the filter.



3. Clean the dust from both sides of the filter net.



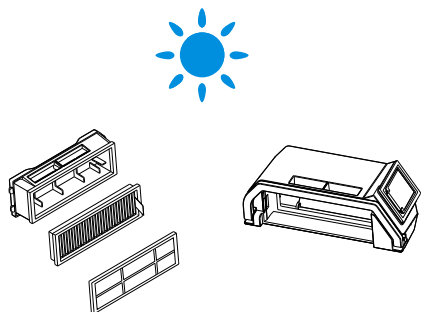
4. Rinse the dust bin and filter with water and shake off the water droplets.



Note:

- Please rinse the filter with water as shown.
- Do not use fingers or a brush to clean the filter.

5. Air dry.

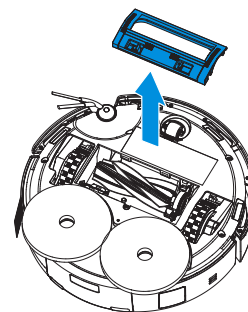


Note: Completely dry the filter before use.

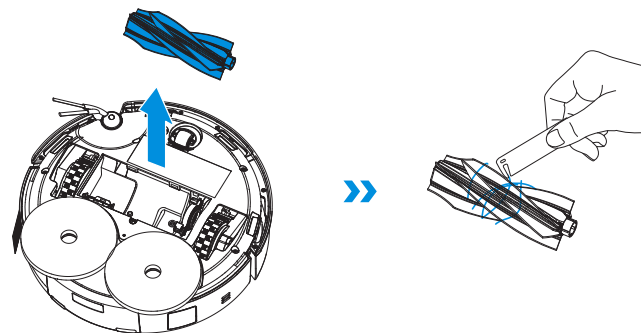
3 Maintain Main Brush and Side Brush

Clean the Main Brush

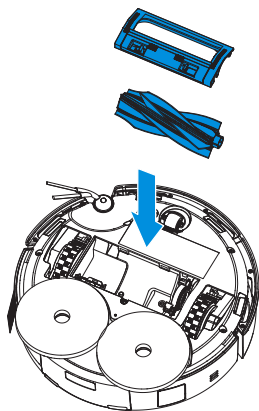
1. Open the cover.



2. Remove and clean the main brush.

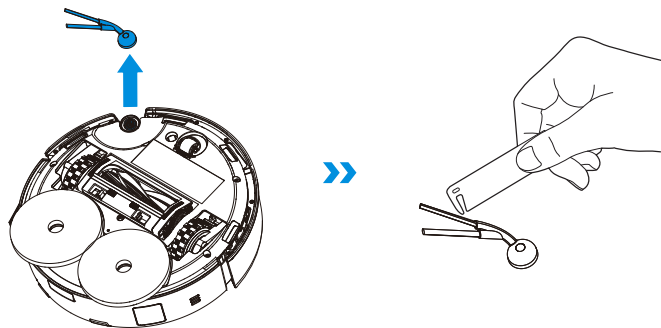


3. Install the main brush and the main brush cover.



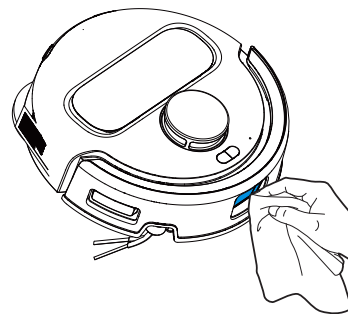
Clean the Side Brush

Remove and clean the side brush.

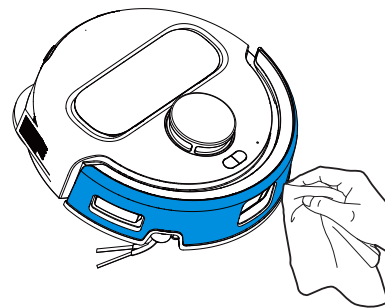


4 Maintain Other Components

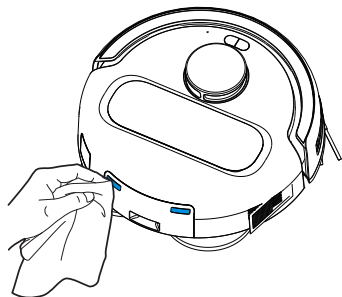
Clean the sensor window



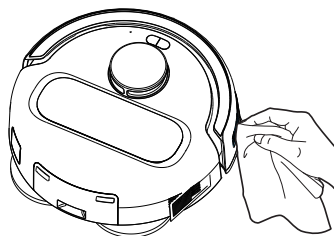
Clean the bumper



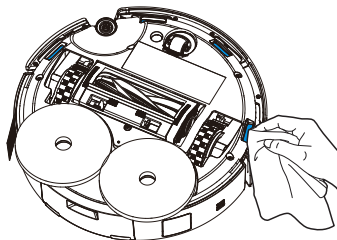
Clean the charging contacts



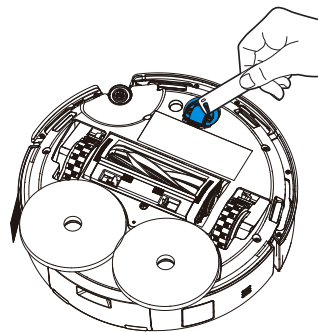
Clean the edge sensor



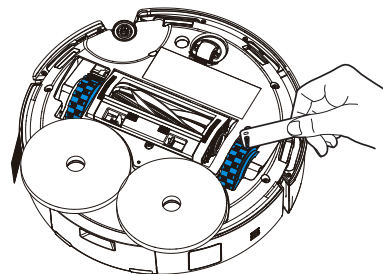
Clean the Anti-drop sensor



Clean the universal wheel



Clean the driving wheels



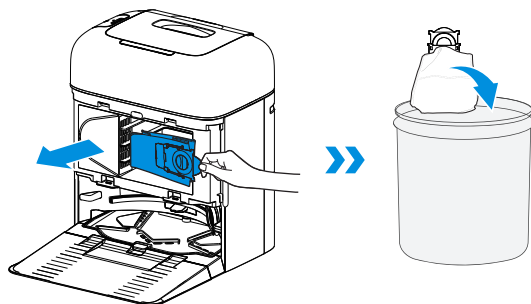
Note:

- Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.
- Wipe the components with a clean, dry cloth. Never use a wet cloth. Do not use cleaning sprays or detergents.
- Charging contacts contain sensitive electronic components. Clean them with a dry cloth. Do not use a wet cloth to prevent water damage.

Station Maintenance

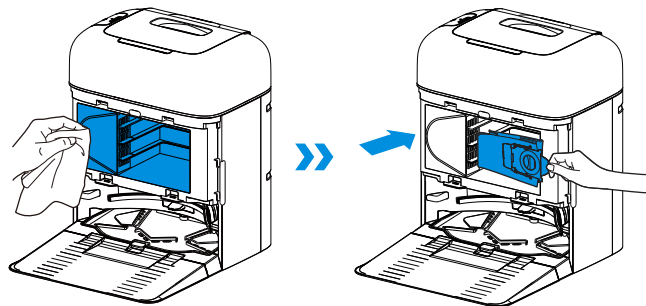
① Maintain Dust Bag

1. Discard the dust bag.

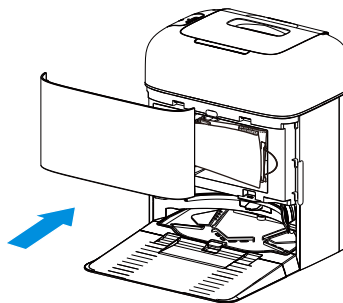


Note: Take out the dust bag by lifting the handle to prevent dust leakage.

2. Clean the dust collection cabin with a dry cloth and put a new dust bag in.



3. Insert the top of the dust collection cabin cover into the groove, and press it down to ensure it is closed.

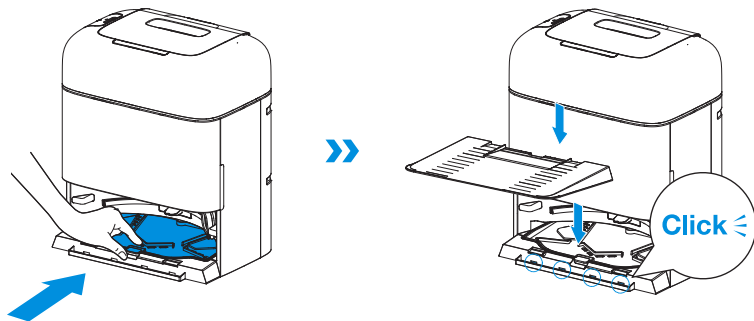


2 Maintain Mop Washing Tray

1. Take off the base and the mop washing tray and clean them.




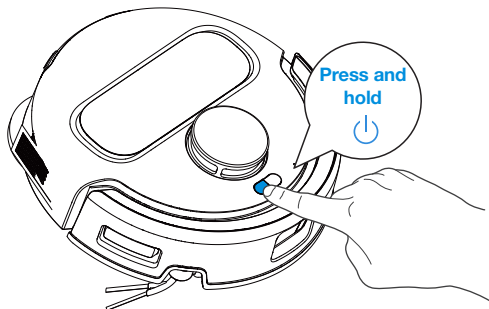
2. Install the cleaned base and mop washing tray.



Note: Please install the mop washing tray properly for smooth operation.

3 Storage

Please fully charge and power off DEEBOT before storage. Place DEEBOT back at the station before pressing and holding  to power off DEEBOT. Please recharge it every 1.5 months to prevent the battery from over-discharging.





Note: DEEBOT cannot be charged when it is powered off.

- When DEEBOT is not working, it is recommended to keep it powered on and charging.
- If the battery is over-discharged or not used for a long time, DEEBOT may not be able to be charged. Please contact Customer Care for help. Do not disassemble it by yourself.



TROUBLESHOOTING

If you encounter the following during appliance use, please refer to the table below for solutions.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
1	DEEBOT cannot connect with the ECOVACS HOME App.	Incorrect Wi-Fi name or password entered.	Enter the correct Wi-Fi username and password.
		DEEBOT is not within Wi-Fi signal coverage.	Make sure DEEBOT is within range of your home Wi-Fi signal. Try to stay as close to the router as possible.
		DEEBOT is not in the configuration state.	Make sure DEEBOT is connected to the power supply and turned on. Open the cover, and press the RESET button. DEEBOT will enter the configuration state when you hear a voice prompt.
		There is no home Wi-Fi on the Wi-Fi list.	1. Check if the Wi-Fi name contains special characters. Please do not use special characters like !@#& ¥%&#. 2. Do not use a 5 Ghz network.
		Incorrect App installed.	Please download and install the ECOVACS HOME App.
		Not using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.	DEEBOT does not support 5 GHz networks. Please use a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
2	The map is lost.	The map may be lost if you move DEEBOT when it is cleaning.	Move DEEBOT to the front of the station to restore the map. Find the stored map in Map Management and tap "Use This Map" to restore it. If this problem persists, please restart mapping.
		Moving DEEBOT when it is cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, try not to move DEEBOT.
		Auto cleaning is not complete.	Make sure DEEBOT automatically returns to the station after cleaning.
3	Unable to create the furniture map in the App.	Moving DEEBOT when cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, do not move DEEBOT.
		Auto cleaning is not finished.	Make sure that DEEBOT automatically returns to the station after cleaning.
4	The side brush fell off.	The side brush is not properly installed.	For proper installation, make sure you hear a "click" when installing the side brush.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
5	No signal found. DEEBOT cannot return to the station.	The station is not properly placed.	Place the station properly according to the instructions in the [Power on and Charge DEEBOT] section.
		The station is out of power or moved.	Check whether the station is connected to a power supply. Do not move the station.
		DEEBOT did not start cleaning from the station.	It is recommended that DEEBOT start cleaning from the station.
		The charging route is blocked. For example, the door of the room the station is in is closed.	Keep the charging route clear of obstructions.
6	DEEBOT returns to the station before finishing cleaning.	The room is too large and DEEBOT needs to return to the station for recharge.	Please enable Auto Resume. For more details, please follow the instructions on the app.
		DEEBOT is unable to reach certain areas blocked by furniture or barriers.	Tidy up the area to be cleaned by putting furniture and small objects in proper places.
7	DEEBOT cannot charge.	DEEBOT is not switched ON.	Press and hold the  on DEEBOT to activate it before charging.
		Charging contacts on DEEBOT are not connected to those on the station.	Ensure DEEBOT's charging contacts are connected to the station and  is flashing. Check whether the charging contacts on DEEBOT and the station are dirty. Please clean them according to the [Regular Maintenance] sections.
		The station is not connected to a power supply.	Make sure the station is connected to a power supply.
		The base is not properly installed.	Please refer to the [Quick Start] section to install it properly.
		The battery will be over-discharged if DEEBOT is not used for a long time.	It is recommended to regularly use DEEBOT. If the battery cannot be charged because it has not been used for a long time, please contact customer care for help.
8	Loud noises during cleaning.	The main brush/side brush is entangled, or the dust bin/filter is blocked.	It is recommended to clean the main brush, side brush, dust bin, filter, etc. regularly.
		DEEBOT is in max mode.	Switch to standard mode.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
9	DEEBOT gets stuck while working and stops.	DEEBOT is tangled with objects on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.).	DEEBOT will try various ways to free itself. If it is unsuccessful, manually remove the obstacles and restart.
		DEEBOT might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
		DEEBOT is stuck in a narrow area.	Tidy up your home, set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
10	DEEBOT encounters issues like a disorderly route, biased movement, repeated passes over the same spots, and missing small areas. (However, if DEEBOT temporarily misses a large area, it automatically returns to make sure it is thoroughly cleaned.)	Objects such as wires and slippers on the ground affect DEEBOT's normal operation.	Before cleaning, please tidy up scattered wires, slippers, and other objects on the ground as much as possible. If there are any missing areas during cleaning, DEEBOT will return to ensure they are thoroughly cleaned. Please do not intervene (such as moving DEEBOT or blocking its route).
		The driving wheels may slip on the ground when DEEBOT climbs steps, thresholds, and door bars, affecting its ability to navigate the entire house environment.	It is recommended to close the door of the affected area and clean the area separately. After cleaning, DEEBOT will return to its starting location. Please feel assured to use this method.
		On freshly waxed or polished floors, as well as smooth tiles, there may be less friction between the driving wheels and the floor.	Please wait for the wax to dry before cleaning.
11	Remote control is delayed.	Weak Wi-Fi signal, slowing down video loading.	It is recommended to use DEEBOT in an area with a good Wi-Fi signal.
12	DEEBOT does not empty the dust bin after returning to the station.	The dust collection cabin is not closed.	Please close the dust collection cabin.
		The Auto-Empty function has not been turned on in the ECOVACS HOME App.	Turn on the auto-empty feature in the ECOVACS HOME App.
		The dust bag is not installed in the station.	Install the dust bag, and close the dust collection cabin.
		Manually moving DEEBOT back to the station might not trigger the auto-empty feature.	It is recommended to let DEEBOT return to the station on its own. Please do not move it manually.
		In Do Not Disturb mode, DEEBOT will not empty the dust bin after returning to the station.	Cancel Do Not Disturb mode in the ECOVACS HOME App or manually start dust emptying.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
13	DEEBOT fails to empty the dust bin.	The OMNI station detects a decrease in empty efficiency.	Replace the dust bag according to the [REGULAR MAINTENANCE] section and close the dust collection cabin. If the dust bag is not full, you can take it out and put it back in.
		The dust disposal port is blocked by foreign objects.	Take out the dust bin and remove foreign objects from the dust disposal port.
14	The inner side of the dust collection cabin is dirty.	Fine particles are absorbed in the inner side of the dust collection cabin through the dust bag.	Clean the inner side of the dust collection cabin.
		The dust bag is broken.	Check and replace the dust bag.
15	Dust leaks when DEEBOT is working.	The dust disposal port is blocked by foreign objects.	Take out the dust bin and remove foreign objects from the dust disposal port.
16	The mopping pad plates cannot rotate.	The mopping pad plates are not properly installed.	Install the mopping pad plates properly. Press the mopping pad assembly into the mounting slots for mopping pad assembly until you hear a "click".
		The mopping pad plates are blocked by foreign objects.	Please remove foreign objects.
17	The driving wheels are jammed.	The driving wheels are entangled or jammed by foreign objects.	Please rotate and press the driving wheels to check for and remove any foreign objects that are entangled or jammed. If this problem persists, please contact customer care for help.
18	The water in the cleaning sink is full and cannot be drained. A voice prompts that the cleaning sink is full.	The integrated water tank is not properly installed.	Gently press the integrated water tank down to ensure it is properly installed.
		The dirty water tank's cover is not tightly sealed.	Ensure the dirty water tank's cover is tightly sealed.
		The station cannot drain water normally.	Press and hold  to see if the station drains water normally. If the problem occurs during the cleaning process for mopping pads, end the task via the App, and then press and hold  to see whether the station drains water properly. If water is successfully drained, wipe the water overflow sensor of the cleaning sink dry. If the station fails to drain water, check between the dirty water tank and the station for foreign objects and remove them.
		The suction port of the cleaning sink is blocked by foreign objects.	Ensure that there is no foreign object in the suction port of the cleaning sink.

No.	Malfunction	Possible Causes	Solutions
		The mop washing tray is dirty.	Take out the detachable tray and the scraper and rinse them clean with water.
		If there is no water in the detachable tray, check if the float is stuck and fails to lower it to its correct position.	Take out the cleaning sink and place the float in its correct position.
		The voice prompt still exists after trying the above solutions.	Unplug the station and plug it in again. If this problem persists, please contact customer care for help.
19	The mopping pad plates are malfunctioning.	The mopping pad plates are entangled or jammed by foreign objects.	Please remove foreign objects.
		The mopping pad plates fell off.	Reinstall the mopping pad plates and make sure you hear a "click" indicating the mopping pad plates are properly installed.

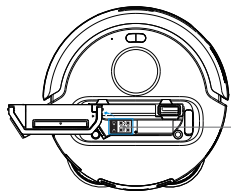
TECHNICAL SPECIFICATIONS

Model	DJX28-01EE
Rated Input	20V $\overline{=}$ 1A
Charging Time	About 4 h
Station Model	CH2536
Rated Input	100V ~ 50-60Hz
Rated Output	20V $\overline{=}$ 1A
Rated Input Current (Charging)	0.5A
Output Current (Emptying)	2.8 A
Output Current (Washing Mopping Pads)	0.5A
Output Current (Drying)	1.1 A
Networked Standby Power	Less than 2.00 W

Output power of the wireless module is less than 100mW.

Note: Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement. Explore more accessories at <https://www.ecovacs.com>.

Based on product requirements (functionality and user experience), our products use a non-ultra-low power appliance architecture, so there is no off mode and no standby mode. After the machine is fully charged, it will enter the network standby mode within 20 minutes. Networked standby mode power is 1.6 W.



Please use the mobile camera to scan the QR code and obtain the user guide.

Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.

No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.

451-2519-0304